

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M232W302	家族看護学 (Family Nursing)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	3	後期	水3・4	江藤千晴・幸松美智子 内線：5076 E-mail：etou-chiha@

【授業の概要・到達目標】

家族を看護の対象として捉え、家族のセルフケア機能を高めるために必要な家族看護の基本的な考え方や支援方法を学び、家族看護の実践に向けた基盤を培う

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 家族とは何か。日本における家族の位置づけや役割、抱える諸問題を、家族の歴史の変遷・看護学や他学問領域における家族の捉えなどから理解し、説明することができる	○			○			
2. 日本文化の中で育まれた自己の中にある家族観を洞察し、その在り様や家族看護の実践に与える影響について述べる事ができる	○		○				
3. 家族看護学の諸理論の学びを通じて、健康上の課題を抱えた家族成員が家族という集団や家族を構成する個人に与える影響、家族を支える看護のあり方を理解し、説明することができる	○		○		○		○
4. 家族看護という看護独自の学問領域の深化の過程と課題を知るとともに、看護職として家族看護学の更なる発展にどのように寄与するか考え、その方策を説明することができる	○			○		○	○

【授業の内容】

1～2	家族とは何か・日本における家族の位置づけや歴史の変遷・現代家族が抱える問題
3～4	家族看護とは何か・家族看護学の諸理論・家族に関わる看護職の基本的姿勢や技術
5～6	家族への看護援助の実際
7～8	家族看護学の展望

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	アクションレポート	・講義の展開に課題として課した事例を用い、学生が意見を述べる機会を設ける
B：意見の表現・交換	○	発問、グループ検討	
C：応用志向	○	グループによる事例検討・発表	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	講義前の予習（次回の学習内容）を個人でレポートにまとめる（文献検討や教科書、参考資料の熟読とまとめ）（8h）。
事後学修	授業で学習した内容に関連したアクションレポートを用いて、授業の復習をする（8h）。

【教科書】

鈴木和子他：家族看護学 理論と実践 日本看護協会出版会、2012年

【参考書】

野嶋佐由美他：家族看護選書 第一巻 家族看護の基本的な考え方 日本看護協会出版会、2012年
山崎あけみ他：家族看護学 臨床場面と事例から考える 改訂第3版 南江堂、2022

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
アクションレポート	30%	○	○	○	○	○
課題レポート	70%	○	○	○	○	○

【注意事項】

講義で配布されるアクションレポートは次週の講義前15時までに提出する

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	幸美智子（看護師） 江藤伸晴（看護師・助産師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	臨床で良く遭遇する家族看護の課題を事例に、理論や知見の用、方、看護の提典の仕方等を講義で押さえる	
授業形態		